

留学だより No.2(9月)

こんにちは。小石川では行事週間も終わって少しずつ落ち着いてきた頃でしょうか。留学を始めてから早くも1か月が経ち、もう10分の1が終わってしまったことが信じられません。

9月は人生史上最大といっても過言ではないほど大変でした。なぜかというところ…

- ① 9/11 ショッピングセンターで財布を盗まれました。
- ② 9/13 ホストファミリーを変えるために引っ越しました。
- ③ 9/28~10/1 までの1週間はテスト週間(September Assessment)でした。

このように様々な出来事がたった1か月で起こりました。前回の留学だよりで次回は学校について紹介すると書きましたが、その前に財布のことにとホストファミリーのことにしてお伝えします。

(1) 財布について

週末にダブルプレイメントの子と一緒に買い物をしようとして town に来ていました。お店にいたときにふとカバンが軽くなって気づいたら財布がなくなっていました。ずっと2人でいて特に誰かとぶつかったわけでもないのに、本当にプロフェッショナルだなと思います。日本では後ろのポケットに財布やスマホをいれている人も多いかもしれませんが、少なくとも私の周りでは盗まれたというのは聞いたことがなかったので、改めて日本の治安の良さを感じました。

その後お店の店員や警察に聞いたのですが、今のところ見つかっていません。中にはカードや現金300ユーロと2万円ほどあったと思います(いつもカードで支払いをしていたので確かではありません)。実は財布を2つ持っていて、もう1つは家にあったので、カードの再発行ができるまではそこに入っていた150ユーロで生活していました。

(2) ホストチェンジについて

私がホストチェンジをした最大の理由はホストマザーとのコミュニケーション問題にあります。前回お伝えしたように私には4歳のホストシスターがいました。私とダブルプレイメントの子はホストシスターが大好きだったのですが、いつからかベビーシッターのようになってしまい、学校から帰ってきて宿題をする以外に自分に時間がとれませんでした。ある程度は家事と同じように自分たちの役割だと思っていたのですが、あまりにも負担となっていたので、ある日私はホストマザーと話し合いをしようと思いました。そのときは上手くいったと思ったのですが、翌朝ホストチェンジについて書かれた置き手紙があり、私はこの先もし問題が発生した時は上手く話し合いはできないと判断しました。また他にも色々な出来事があり、徐々に私の心がホストマザーに対して閉

じて、話すのが怖くなったり、寝られなくなったりしたので、最終的にホストチェンジに至りました。私はよく考えた結果ならばホストチェンジは全然マイナスではないと思います。留学という貴重な経験ができる機会を最大限に生かし、自分にとって最高の1年にすることが1番大切だからです。

今は次のホストが見つかるまでの一時的なホストファミリーの家にいます。



同じ county(都道府県のようなもの)なのですが中心からは少し離れ、学校まではバスで1時間ほどです。以前は距離が短い city direct のバスで、片道1.4ユーロでしたが、今は片道5ユーロになってしまいました(笑)。

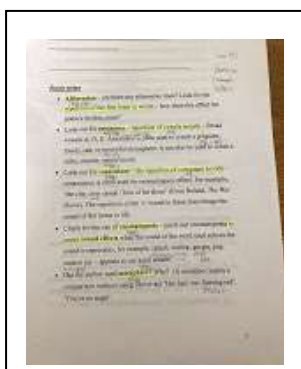
今のホストファミリーはホストマザーと犬2匹です。それからすでにデンマークとドイツからの子を受け入れているので、そこに私とダブルプレイメントの子が加わって、とてもインターナショナルに暮らしています。家の隣には羊がいます(笑)。

(3) 学校について

いよいよ本題です。前回留学だよりを書いてからいくつか科目を変更したので、今は英語、数学、応用数学(Applied math)、化学、生物、家庭科(Home economics)をとっています。ビジネス、歴史、音楽を変えて、英語を2つとっています。その2つは全く同じ内容なのですが、レポートして聞いた方が理解が深まるだろうと校長先生に勧められました。まず各科目の授業内容を紹介します。

・英語

→初めはポエムを読み、そこで使われている技法(隠喩、頭韻、オノマトペなど)について学んだ後に2つの質問に答え、A4 1ページのエッセイを書きました。たった1ページでしたが、まずポエムの内容を理解し、考えをまとめて、英語で書くという作業をしたため2時間半もかかりました(笑)。



Poetic terms についてです。小テストもありましたが、私はその情報を聞き取れなかったため、ほぼ抜き打ち状態となり0点でした…



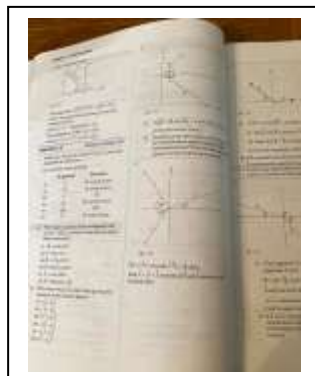
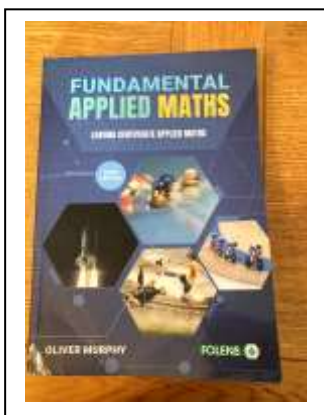
・数学

→数学は今のところとても簡単です。因数分解、判別式、平方完成、二次関数をやりま

した。他の生徒も因数分解を習うのは初めてではなかったようです。英語の数学用語を知りませんでした。ほぼ数字だけなのと日本ほど記述がないため、そこまで困りません。

・応用数学(Applied math)

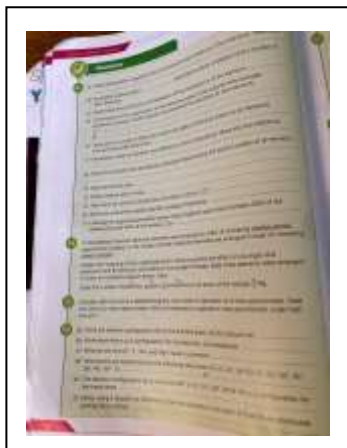
→この科目は数学と物理の中間にあたります。ベクトルと加速度をやりました。ベクトルは日本ではやっていませんでしたが、そこまで応用的な問題はない印象なので、むしろ簡単に感じる科目の1つです。たまに数学が分からないのではなく、問題の意味が英語的に分からないです(笑)。ただ電卓を使わないと答えが求められない問題が多い($\sin \theta$ 、 $\cos \theta$ 、 $\tan \theta$ など)ので、最初は使い方が分からず困惑しました。また数学、応用数学ともに電卓の使用が許可されていて他の生徒はたとえ2桁×2桁でもすぐに電卓を取り出します。私はそれくらいだと電卓を出すのが面倒くさくて筆算するので、他の人に比べて圧倒的に電卓の使用頻度は少ないです(笑)。



私は2冊しか教科書を持っていません。そのうちの1冊です。教科書はとても高く、これは38ユーロ(5000円)もしました。ほとんどはハンドアウトが配られます。あとはノートを稀に使います。サイズはA4です。

・化学

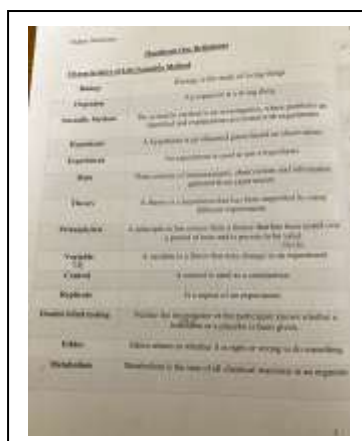
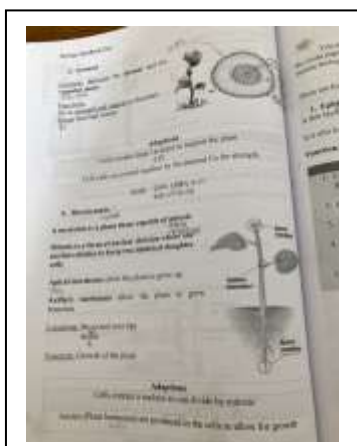
→原子についてやっています。日本ですでに学んだ内容がほとんどですが、より専門的な用語が多いので辞書が必須です。周期表はテスト中でも見られるので覚える必要はありません(笑)。



化学の宿題は左のような質問に答えるという場合が多いです。この教科書はホストマザーの友人からの中古品なので10ユーロでした。右のように書き込みはありましたが、留学生にとって中古で獲得できるはすごくありがたいです。

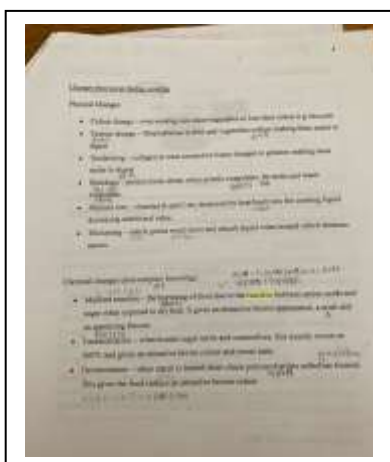
・生物

→主に細胞についてやっています。こちらも化学と同様に英語的に厳しいです。化学も生物も実験は全くなく、ひたすら座って講義を聞いています。生物のテスト範囲が1冊のハンドアウト分なのですが115ページもあります。信じられません(笑)。テストについてはまた後ほど記述します。



毎週左のような definition test があります。

・家庭科(Home economics)



→家庭科と似ていますが、日本と少し内容は異なります。最近は cooking method(料理中に食べ物におこる変化、それぞれの食べ物に適した調理法など)や家族(家族構成の変化、家族の定義など)について学びました。今のところ調理実習や裁縫はしていませんが、先日先生がクリスマス後にはプロジェクトのような感じで料理をしておっしゃっていたので楽しみです。

以上が各教科の紹介となります。宿題は基本は毎日あります。私は宿題に加えて予習、復習で知らない単語を調べなければいけないので、平日は家に帰ってからは夜ご飯以外は勉強して寝るといような生活になっています。学校では毎日自習の時間が2,3コマあるので、そこでできるだけ減らせるように頑張っています。この時間はいわゆる空きコマなのですが、自習の教室での自習が義務付けられていて、先生が出席をとって、ずっと見ているので自由時間にはなりません(笑)。ちなみに朝は7時15分頃に家を出て、ホストマザーにバス停まで車で送ってもらっています。Tuam はあまり治安がよくないらしく、1人で歩かない

でとされています。そして家に帰ってくるのは18時30分頃です。

テストについてです。私の学校は毎月テストがあります。いわゆる期末のような感じでテスト時間は40分から50分程度です。一番驚いたのはテスト週間でも授業があるということです!!テスト勉強もしなければいけないのに宿題もあります。しかしダブルプレイメントの子に聞いたらドイツでもテスト週間に授業はあるそうです。そのせいか日本よりテストが近づいているというムードはありません。内容は理解していても英語で説明できないため、ほぼテキストを丸暗記しないと答えられず、すべての範囲をカバーするのは不可能に等しいです。結果はご想像にお任せします…

さて長くなってしまいました。9月は大変なことも多かったです、友達と遊ぶことができたのがとても嬉しかったです。次回は何について紹介するかは未定ですが、ぜひ読んでください。

戸塚